

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基盤にして、これからの変化する社会に主体的に対応して生きていくための豊かな人間性や、たくましい心身の育成を目指し、次の目標を掲げる。

- 自ら学び、すすんで努力する生徒 ○ 他を思いやり、礼儀正しい生徒 ○ 正しい判断力を持ち、心身ともに健康な生徒

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	『関わる全ての人にとって「安心・安全な学校」を目指して』 ○ 学力と体力を確実に身に付けさせる学校 ○ 生徒一人一人の個性を生かし、伸ばし、夢・目標をしっかりとらせる学校 ○ 厳しく教え、温かく育てる学校 ○ 家庭・地域と一体となった教育を展開する学校
○児童・生徒像	○ 自ら学び、すすんで努力する生徒 ○ 他を思いやり、礼儀正しい生徒 ○ 正しい判断力を持ち、心身ともに健康な生徒
○教師像	『教育のプロとしての自覚と誇りと情熱をもつ』 ○ 教育への情熱を持ち、常に資質向上に努め、真のプロ教師を目指す教師 ○ 一歩でも前進する（改革・改善）教師 ○ 社会的責任を自覚し、生徒・保護者・地域の期待に応える教師 ○ 教職員それぞれの個性を生かし、組織的に対応する教師 ○ ライフ・ワークバランスを推進する教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

<現状>

- ・生徒は落ち着いて学校生活に臨んでおり、授業に取り組む姿勢はできている。
- ・生徒会活動や学校行事を通じて、教職員と生徒、生徒相互の信頼関係を構築し、自己有用感が高まっている。
- ・様々な地域の行事に参加させていただき、生徒が多く活躍する場を与えてもらうことで、地元愛や学校愛が深まっている。

<前年度の成果と課題>

- ・個を大切にしたい指導感を共有し、生徒一人一人を認めるとともにきめ細やかな指導をすることができつつある。今後もより充実させていく。
- ・授業改善に向け、小中連携を中心に組織的な取組や生徒一人一人に応じた学力向上に対する取組をより充実させていく。
- ・全ての教育活動で、人権尊重を中心とした視点・感覚を醸成させていくことで、生徒の心の居場所づくりを推進していく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成	○	○	○	○	○
3	I C T機器の有効活用	○	○	○	○	○

5 令和6年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善と学力の定着		<ul style="list-style-type: none"> ・年度末実施の達成確認テストの正答率各学年 65%以上 ・次年度区学力調査通過率各学年 65%以上 				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
継続	(1) 授業力向上	全学年 全教科	通年	<ul style="list-style-type: none"> ①管理職による授業観察 ・全教員が学習指導案作成(年2回) ②小中連携授業研究 ・足立スタンダードの基づく授業改善(年3回) ③教科ごとによる授業公開期間の実施 ・各教科で自主授業公開の実施(各教科年1回以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ①令和7年度区調査による検証 ②年度末達成度確認テストによる検証 ③生徒授業アンケートによる検証 	<ul style="list-style-type: none"> ①令和7年度区調査通過率各学年 65%以上 ②年度末達成度確認テストの正答率各学年 65%以上 ③生徒授業アンケート結果の数値上昇 	自己評価の際に記入		
継続	(2) 主体的に取り組む態度の向上	全学年 全教科	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣課題の充実及び家庭学習の習慣化 	<ul style="list-style-type: none"> ①保護者による学校評価 ②生徒アンケートによる検証 	<ul style="list-style-type: none"> ①保護者の学校評価で、家庭学習の項目 70%以上 ②生徒アンケートによる学習習慣に関する項目 70%以上 			

継続	(3) サマー スクール	全学年 数学 英語	夏季休 業日中 7日間	①基礎学力の定着及び学 習の習慣化 ②小学校教員による算 数・数学補習の実施	事前テスト 事後テスト	最終日に事後 テストを実施 し、正答率10% 以上上昇		
継続	(4) 放課後 補充教室・AIドリ ルタイム の実施	全学年 5教科	通年	①全生徒を対象に、AIドリ ルの時間を設定し、計画的 に帰りの学活前に実施 ②大学生等による、放課後 の補充授業の実施 ③英検対策講座の実施	①年度末達成 度確認テスト による検証 ②次年度区学 力調査による 検証 ③英検の受験 合格率	①年度末達成 度確認テスト の正答率65%以 上 ②令和7年度区 調査通過率70% 以上 ③英検合格率 60%以上		

重点的な取組事項－2		豊かな心の育成					
A 今年度の成果目標		達成基準		実施結果		コメント・課題	達成度
生徒の自己肯定感・自己有用感の向上		生徒意識調査における関係質問項目の通知向上		自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み							
項目	達成基準	具体的な方策		実施結果		コメント・課題	達成度
PBS(ポジティブな行動支援)による自己肯定感・自己有用感の向上	足立区学力調査・生徒意識調査の「学級の人から頼られている。」「学級の人から感謝されたことがある。」等の設問回答が肯定的の割合80%以上	①校内研修 ②小中連携研修 ③ボランティアの充実		自己評価の際に記入			

WEBQU の有効活用による生徒理解の深化	WEBQU の1回目から2回目の調査時「学校に満足している」と回答している生徒の向上	①WEBQU 実施時における研修会（年2回） ②結果検討によるアセスメント及びそれによる具体的な支援			
教育相談の充実	①不登校生徒の出現率を前年度比-1ポイント ②区意識調査の「学級の人に支えられていると思う」等の回答が肯定的割合 80%以上	①担任教員による2者面談の実施及び全教員指名制による全生徒対象教育相談実施 ②教育相談部会の実施（毎週）			

重点的な取組事項－3		ICT機器の活用			
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
ICT機器を活用した「主体的・対話出来で深い学び」の実現	<ul style="list-style-type: none"> 区学力調査通過率各学年 65%以上 年度末実施の到達確認テストの正答率各学年 60%以上 	自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
AIドリル有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒活用率 100% ②生徒授業アンケートで、活用したという回答 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 授業後、帰りの学活前の「AIドリルの時間」の設定 授業での活用 家庭学習での活用 	自己評価の際に記入		

<p>特別支援学級 ICT モデル校の取組 推進</p>	<p>①ICT機器を活用した授業展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での活用 ・放課後のAIドリル等の活用 ・希望者がタブレット持ち帰り、自宅でAIドリル等の活用を図る 			
--------------------------------------	------------------------	---	--	--	--